

**従来の陰影起伏図を進化させた地形表現の新技术
多重光源陰影を用いた「凸凹地図スタンダード／プレミアム(Std./Prm.)」で特許取得**

株式会社 東京地図研究社(本社:東京都府中市、代表取締役社長:塚田 野野子)では、長年にわたり美しく、見やすい地形表現手法を研究してまいりました。この度、新たに考案した多重光源陰影による地形表現法で特許を取得しましたのでお知らせいたします。

■特許番号	:特許第 6145196 号
■特許出願日	:平成 28 年 5 月 19 日
■特許取得日	:平成 29 年 5 月 19 日
■特許権者	:株式会社 東京地図研究社

本手法は、数値標高モデルを用いた地形表現において、光源による方向依存性を軽減しながら精細さとナチュラル感を目指して開発しました。地形の見やすさと地図としての美しさを損なうことなく、従来の手法では描き切れなかった地表面の起伏を精緻に表現できることが最大の特長です。本手法は、大地の素颜である地形そのものを魅せる地図に留まらず、さまざまな地理空間情報を重ねた一般的な地図の背景図にすることで、多様な空間情報への理解を促す一助になるものと考えられます。こうした特長を活かして、専門的な地形調査はもとより各種メディア、防災、教育、ツーリズム等、空間情報社会における幅広い用途での利用が可能です。

これらの地形表現法を「凸凹地図(でこぼこちず)スタンダード／プレミアム(Std./Prm.)」として凸凹地図シリーズの新コンテンツに加え、オーダーメイドにより皆様にご提供いたします。

【新手法の概要及び特長】

●「凸凹地図スタンダード(Std.)」(多重光源陰影段彩図)

方位(上方、右側、左側)と明度が異なる3種類の陰影起伏図を合成し、方向依存性を緩和した地形表現手法です。従来の単光源陰影図では表現が難しかった特定方向に直線的な地形も視認しやすくなります。

●「凸凹地図プレミアム(Prm.)」(多重・斜照法疑似陰影段彩図)

多重光源陰影起伏と、地形解析により生成した疑似的な陰影とを合成した地形表現です。凸凹地図 Std.よりも、微地形をさらに詳細に描き出すことができます。

東京地図研究社は、約 60 年の地図製作と GIS 技術のノウハウを礎とし、今後も新たな地形表現の研究や技術開発を進めていきます。これにより業界並びに関係者、そして社会に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

E-Mail: info-tmr@t-map.co.jp

TEL: 042-364-9765 / FAX: 042-368-0333

以上